

記載例

工事経歴書

余白に工事種別ごとにページを記入してください。(ページ/総ページ)

(建設工事の種類)

土木一式

工事

( 税込 ・ 税抜 )

p 1 / 1

注文者	元請 又は 下請 の別	JV の別	工事名	工事現場の ある都道府 県及び市町 村名	配置技術者		請負代金の額		工期		
					氏名	主任技術者又は監理 技術者の別(該当箇所 にレ印を記載) 主任 技術者	監理 技術者	うち、 ・ PC ・ 法面処理 ・ 鋼橋上部	着工年月	完成又は 完成予定年月	
山形県	元請		A工事	山形市	山形 一郎			200,000 千円		平成 28年 11月	平成 29年 8月
山形県	元請		B工事	山形市	天童 次郎			120,000 千円		平成 28年 12月	平成 29年 6月
山形市	元請		C工事	山形市	新庄 三郎	レ		50,000 千円		平成 29年 1月	平成 29年 3月
△△建設	下請		D工事	山形市	米沢 四郎	レ		100,000 千円		平成 29年 2月	平成 29年 7月
★★建設	下請		E工事	山形市	鶴岡 五郎	レ		70,000 千円		平成 29年 4月	平成 29年 6月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月
										平成 年 月	平成 年 月

① 元請工事を、元請のみの完工高の合計の7割を超えるところまで請負金額の大きい順に記載します。  
元請完工高のみの合計の7割 350,000千円(=500,000千円×0.7)  
記載した元請完工高の計(A～C工事) 370,000千円

② まだ書いていない元請工事が、下請工事を記載し、完工高の総計の7割を超えるところまで請負金額の大きい順に記載します。必ずしも元請工事を全部記載する必要はありません。  
完工高の合計額の7割 490,000千円(=700,000千円×0.7)  
記載した工事の計(A～E工事) 540,000千円

※1 大きい金額の下請工事があっても、必ず元請工事の下に記載してください。  
※2 500万円(建築は1,500万円)未満の軽微な工事は10件まで記載してください。  
※3 件数が少ない場合は、全ての工事を記載してもかまいません。

「小計」欄はページごとに記載した工事の件数及び完工高の額の合計を記載します。

元請工事の完工高の合計を記載します。

「合計」欄は完工高に計上した全ての工事の合計(決算額)を記載します。1業種が複数ページになる場合は、最終ページのみ記載します。

小計	5 件	540 千円			うち 元請工事 370,000 千円	0 千円
合計	9 件	700,000 千円	0 千円		うち 元請工事 500,000 千円	